



# あぜみち

www.ja-shinshinotsu.or.jp/

## 今月号の主な内容

- ニュース&トピックス
  - 令和7年度石狩北部担い手フォーラム
  - JA役職員と女性部役員との懇談会
- 今月の技術情報
  - 【水稻】停滞水を除去し、初期生育を推進!
- インフォメーション
  - 繁忙期の休日対応について



【写真】

「そろきらり」生産技術評価され白木氏と伊賀道氏が受賞

3月19日、札幌市で「そろきらり多収チャレンジ2025」の表彰式が開催され、本村からは「単位収量の部」で最優秀賞に中原農事組合の白木輝彦氏、「増収の部」で優秀賞に西篠津農事組合の伊賀道正広氏の両氏がホクレン農業協同組合連合会より表彰され、賞状等が贈呈された。

=関連記事5面

# 4

## JA新の

令和8年4月号  
vol. 789

## 長年に亘る献身的努力でJA発展に尽力

### 令和7年度農協功労者表彰

当JAの早川仁史会長が3月13日、札幌市で開催された令和7年度農協功労者表彰において表彰を受けた。農協功労者表彰とは、農業及び関連産業の研究開発の発展、農業技術の研究や普及活動、農業経営の改善指導に携わる人々の意欲向上を目的とし、長年に亘り献身的な努力で農業協同組合の発展に尽力し、他の模範となる功績を挙げた個人に贈られる。

早川会長は、昭和58年に短期大学を卒業後、実家である農業に従事。メロン栽培や有機農業にも力を注いで複合経営を確立した。平成7年からは青年部長を2年間務められるなど地域農業のリーダーとして活躍された。平成21年4月にJA理事に就任。農業への強い思いと行動力が組合員の期待と信頼を受け、平成28年12月に専務理事、令和3年4月からは代表理事組合長、さらに令和5年6月より会長理事（現職）を歴任して、土づくりを中心としたクリーン農業や農地をフル活用した農業所得の確保による農家経済の安定向上に寄与した。農政対策では、いち早く情報の収集を図り、スピード感を持って組合員への情報提供と対話を進めた一方、消費者の声にも積極的に耳を傾け、状況に応じた判断力とリーダーシップにより組織をまとめ、村の全農地を可視化できるようにデジタル化を進めたほか、輸出来米やもち麦、GABA米など販路拡大に尽力した。

令和5年6月からJA北海道厚生連代表理事副会長並びに全国共済連北海道本部副会長として全道の課題解決に取り組まれている。



記念の盾を手にする早川会長を囲む長屋組合長（右）と市川専務

## 緑白綬有功章受章の藤永氏フォーラムで基調講演

### 令和7年度石狩北部担い手フォーラム



基調講演する藤永氏

3月5日、石狩北部指導農業士・農業士会及び石狩農業改良普及センター石狩北部支所が主催する「令和7年度石狩北部担い手フォーラム」が当別町にて開催され、拓新農事組合の藤永康夫氏が「農業への想いを次世代に繋げる」と題し基調講演した。

藤永氏は講演の中で、自身の生い立ちから就農した経緯やJA青年部での活動から広がった交友関係により情報化とやる気が醸成されたと話した。新篠津村生産振興会の会長時には北海道で「ゆめびりか」が誕生。また、約15年前から実践しているグリーンツーリズムしんのつでの宿泊農業体験では、幼児期から泥遊びを経験させることは子どもが成長する過程で非常に大事だと伝えた。藤永氏は「農業に従事した50年を振り返ると形に残らないものが大事であると気付いた。それは『思い・仲間・知識・技術・組織・ネットワーク・会話・雑談』である」とし、担い手に伝えたいこととしては、目まぐるしく加速する時代の中でその流れに流されず、それを読み取る力を付け、方向性を間違えない眼力を養ってほしいと語った。

そのほか、同フォーラムではSHIN-AGRI（旧・新米塾）の宮田大輔氏が「水稻の粉の出芽と温度について」と題して青年活動発表を行った。

## 収量・品質ともに良好令和7年産大豆格付け品位決定

### 令和7年産大豆乾燥調製施設自主検査会議



自主検査の様子

JAでは、令和7年産大豆調製施設（ピーンセンター）自主検査会議を2月20日に本部検査場にて開催した。

開会の挨拶で長屋光一検査委員長は「昨年は異常高温や干ばつにより心配していたが、大豆だけは品質低下も少なく収量も良好だった。その要因を追究し、今年の作付けに繋げて行きたい」と話した。

議題は大豆乾燥調製施設の精算について協議。その後、検査委員による品位別の自主検査を実施し、格付け品位が決定された。この検査は、受入段階での下見品位が公正かつ適正かを確認することが目的。当日は検査委員4名と当JA関係者立会いのもと進められ、荷受け毎に採取された全7種類（慣行5種類・特裁2種類）のサンプル21点を検査した。

令和7年産大豆のJAピーンセンターでの受入重量（原料）は全品種で1,230t。うち調製出来高は1等1,035t、2等22t、特定加工18tの計1,075tとなっている。

産地に求められる安心・安全で高品質な安定生産を目指す

新篠津村野菜生産組合第29回通常総会



総会で挨拶する新篠津村野菜生産組合の高橋組合長

新篠津村野菜生産組合では3月18日、JA2階大会議室にて第29回総会を開催。会員ら27名が出席した。

総会の開会で高橋一真会長は「昨年は、高温や干ばつに悩まされたが、皆さんの日々の努力により野菜販売金額は318,221千円を計上した。今年度は、道外の先進地視察研修を事業計画に盛り込み、更なる高品質と安定生産を目指す」と挨拶。続いて、来賓挨拶で当JAの市川英俊専務理事は「今年は例年になく小雪で春作業は順調に進む見込み。近年の異常気象による高温と干ばつで、手間暇かけた作物が上手く生育せず、気苦労があったと思う。今後も適切な栽培管理で持続的な安定供給を振興して行く」と話した。

議事では、令和7年度事業報告並びに収支決算報告、令和8年度事業計画並びに収支予算案など全4議案を審議した。今年度の事業計画では、各部会員との連携強化と野菜生産振興を図る上で、適時適切な情報提供の発信や道内外市場を集約した中で、各市場単位での出荷会議の実施とふるさと納税を含めた市場外販売等の積極的な推進、産地に求められる「安心・安全」で新鮮な野菜を提供するため、各種研修会を実施し、今まで以上に野菜の高品質と安定生産を目指すこと掲げた。

異常気象対策で高品質・高収量維持を図る

ブロッコリー部会栽培技術講習会



開会挨拶する馬淵部会長

ブロッコリー部会は2月24日、JA2階大会議室にて栽培技術講習会を開催。生産者ら21名が出席した。

開会にあたり同部会の馬淵弘部会長は「現状の栽培環境から如何に高収量に出来るか、そのためにどのような資材等を使えば良いか。一人ひとりが目標を持っていけば、自ずと目的に近付くと思う。是非とも実際の営農に活かして欲しい」と挨拶した。講習会は4人の講師を招き進められた。

(株)コハタ旭川本社の土屋拓郎氏は「栽培防除マニュアルについて」と題し、黒すす病対策や殺虫剤について説明した。(株)ファイトクロームの相川卓也氏は「BS(バイオスティミュラント)資材について」と題し、高温や乾燥に負けない栽培対策について述べた。マイクローブ(有)の沼宮内国則氏は「有機物発酵微生物資材について」と題し、有機物分解の過程と作用を解説。また、(株)コハタ岩見沢営業所の早坂智史氏からは農業用ドローンに係るライセンス取得等について説明された。

昨年は多雨から始まり農作業が遅れ、夏場の異常高温による干ばつ、秋には再度長雨となり収穫作業や品質に影響が見られる両極端な天候に悩まされた。依然続く予想されるこの傾向の中、高品質と高収量維持に向け大変興味深い講習会となった。

積極的な意見交換で女性部活動の推進に期待

JA役職員と女性部役員との懇談会



開会挨拶する市川部長(右)

JA女性部では3月6日、JA2階大会議室で農協役職員との懇談会を開催。農協役職員16名と女性部役員12名が参加し、地域農業の未来と更なる発展に向け意見交換を行った。

開会にあたり、市川真紀部長は「貴重なこの機会に農協役職員と女性部の理解を深め、色んな意見が出るようざつとくばらん」に活発で有意義な意見交換会にしましょう」と挨拶。続いて、長屋光一代理事組合長が「今は女性が活躍する時代。年に一度の懇談会ですので、農協の事業運営や日頃から感じていることなど有意義な懇談会とした」と呼び掛けた。

意見交換では5つの点について懇談。「女性部と青年部の交流について」では、両部の交流を図るため、合同での各種研修会やイベントの企画について意見した。「資材店舗の物品について」では、農繁期に必要な物を店舗に置いて欲しいという要望。加工実習施設の「COCONARA(ココナラ)」では、使いこなせていない機器や今後の活用方法について伺った。「業務分担について」では、女性部業務を円滑に遂行するため、補佐役を設けるなどの提案があった。その他には、JA役職員側から女性部に対しての要望を伺うなど、活発に意見交換する懇談会となった。

基本技術の実践に努め「信頼される産地づくり」を目指す

新篠津村生産振興会第22回総代会

新篠津村生産振興会では3月18日、JA2階大会議室にて第22回総代会を開催。会員ら20名が出席した。

総代会の開会にあたり長山智貴会長は「ゆめびりかに代わる新品種と期待されている上育485号は、高温耐性があり多収と言われている。新しい情報は随時、総代会を通じて今後も発信して行く」と挨拶。続いて、来賓挨拶で当JAの長屋光一代表理事組合長は「昨年は記録的な猛暑によりあらゆる作物の品質等に悪影響を与えたが結果、米価に支えられた。春と秋の雨に悩まされるなか、大豆は好成績に恵まれた。今後、資材の高騰などが気になるところだが、経営判断が重要となってくる。生産振興会を通じ、地域農業を支えて行つて欲しい」と話した。

総代会の議長に拓新農事組合の安藤正樹氏を選出して議事に入った。議事では、令和7年度事業報告並びに収支決算報告、令和8年度事業計画並びに収支予算案、役員・総代任期満了に伴う改選についてなど全4議案を審議した。事業計画では、低タンパク米生産の拡大に向けた事業運営の展開及び関係機関との連携、小麦減収の要因課題整理と増収確保に向けた栽培技術確立への取り組み、新たな生産技術の確立及び省力・低コスト化技術の普及と推進、水稲・小麦・豆類等の新品種を含めた各種試験の実施及び結果検証など8項目を具体的推進事項に掲げた。

なお、新役員は次のとおり  
 会長 長山 智貴(再)  
 副会長 北川 敬太(再)  
 副会長 今井 拓弥(新)



総代会で挨拶する長山会長

単収上がるきっかけに栽培優良事例活かす

新篠津村生産振興会栽培研修会及び共励会

新篠津村生産振興会では3月18日、JA2階大会議室にて令和7年度水稲・秋小麦・大豆の栽培研修会を実施した。当日は生産者ら138名が出席した。同振興会の長山智貴会長は「各種作物を生産する上で単収上位者のデータを有効に活用し、単収が上がるきっかけにして頂きたい」と挨拶。

研修会のテーマは「令和7年産の水稲・秋小麦・大豆の作柄と課題」。講師の石狩農業改良普及センター石狩北部支所の上森魁斗普及職員からは「令和7年水稲生育の振り返りと令和8年産に向けて」と題し、昨年産の収量低下の要因としては、6月から7月の高温が生育に悪影響を与え、総粒数が確保出来なかったためと話した。今年産に向けての対策としては、栽培管理において可繁茂を防ぐことが重要とした。同普及センター石狩北部支所の馬着隆幸専門主任からは大豆における注意すべき病害虫にダイズ黒根腐病とホソヘリカメムシを挙げた。また、地下灌漑の活用についても詳しく説明した。当JA農産部生産資材課の宗像政美主任技師からは「令和7年産の米・麦・大豆通信簿」の見方について説明した。

研修会終了後、令和7年度農産物共励会を開催。麦と大豆それぞれの栽培単収上位の生産者に同振興会が定める「匠」表彰として長山会長より賞状を授与した。「麦の匠」最優秀賞には川下農事組合の若松達矢氏、「豆の匠」最優秀賞には北新農事組合の今井猛氏を選ばれた。両氏からは優良事例の概要報告がなされた。



「匠」表彰を受賞した今井氏(左)と若松氏

標準施肥量をもう一度見直して良質で多収を目指す

新篠津村生産振興会「そらきり」の良質・多収栽培研修会

新篠津村生産振興会では2月25日、JA2階大会議室において「そらきり」の良質・多収栽培研修会を実施。当日は生産者と関係者ら約70名が出席した。同振興会の長山智貴会長は「きりら397に代わる期待している『そらきり』は個性ある品種。令和7年産は高温により品質のバラつきが見られたが、作付面積も増加しているため今後も良質・多収に向け研修を重ねて行きたい」と挨拶した。その後、研修会は2名の講師を招き進められた。

北海道立総合研究機構中央農業試験場水田農業部水田農業グループの齋藤優介主査は「そらきりの安定多収を目指す栽培法と省力栽培技術の開発に向けて」と題し、そらきりの多収の要因に籾数の多さや葉面積の維持とし、葉枯れの少なさを登熟期間の葉面積維持により高い乾物生産能力を発揮させ、受光体勢の良い群落づくりと倒伏防止に努めるよう話した。また、省力栽培技術では、高蜜短(高密度播種短期育苗)のメリットに、使用する苗箱数の削減と育苗日数の短縮、リスクとして、収量は中苗と同等だが成熟期が遅く、登熟不足による品質低下を挙げた。

石狩農業改良普及センター石狩北部支所の上森魁斗氏は「そらきりの管内の調査結果と今後に向けて」と題し、目標収量に対する株間毎の茎数と穂数、籾数の指標目標について説明した。

最後に当JA農産部生産資材課の宗像政美主任技師から「令和7年産そらきり収量実態」について詳細なデータに基づき試験成績が報告された。



開会挨拶する新篠津村生産振興会の長山会長

「そらきり」生産技術評価され白木氏と伊賀道氏が受賞

「そらきり多収チャレンジ2025」表彰式



受賞した白木氏（右から2人目）と伊賀道氏（左から3人目）

3月19日、札幌市で「そらきり多収チャレンジ2025」の表彰式が開催され、本村からは「単収量の部」で最優秀賞に中原農事組合の白木輝彦氏、「増収の部」で優秀賞に西篠津農事組合の伊賀道正広氏の両氏がホクレン農業協同組合連合会より表彰され、賞状等が贈呈された。

本企画は「そらきり」の作付け拡大と生産技術向上のため、収量レベルが優れた生産者を表彰するもの。多収に挑戦する機会を創出し、生産技術の面から先進的で他の模範となる生産者を表彰し、その事例を広く紹介することで、栽培技術水準の向上と「そらきり」の作付面積及び収穫量の向上を図り、持続的な北海道稲作と国内の安定的な食糧供給に繋げることを目指している。表彰区分は「単収量の部」と「増収の部」の2部門。

なお、同日には北海道庁主催の「令和7年度水稻低コスト・省力化生産技術研修会」が開催され、最優秀賞を受賞した白木氏が同研修会に出席し「そらきり」の栽培事例を報告した。

気象センサー・RTK基地局ネット配信化で更なる高み

新篠津村ICT農業研究会第13回総会

新篠津村ICT農業研究会では3月16日、JA2階大会議室にて第13回総会を開催。会員ら45名が出席した。

総会の開会で高橋一志会長は「第13回の総会を迎え、現在の会員数は184名となり、ICT農業研究会への期待も高まってきている。昨年は研修会や実演会、多くの視察を受け入れた。12月には村、JA、（株）フエイガーとの4者による包括連携協定を調印し、今後も魅力ある活動をしていきたい」と挨拶。

議事では、令和7年度事業報告並びに収支決算報告、令和8年度の事業計画並びに収支予算案、役員改選など全5議案を審議した。今年度の予算には、気象センサー基地局設置などが盛り込まれ、活動を更に加速させる。

また、総会後には株式会社ティンバーテックによるJAで所有しているRTK無線基地局（2基）のインターネット配信化に係る説明会を開催した。既存の無線RTK基準局の無線電波が届くエリアは概ね基地局半径約10km以内だが、Ntrip配信の活用可能エリアは25kmにまで範囲が広がる。ハイブリッド化することにより村外や離れた圃場でも安定したRTK測位を可能にする。

同基地局では現在、村内43戸の農家が無線方式で利用。導入コストが低いインターネットでの受信も可能となることで利用者が拡大し、より一層スマート農業技術の活用が進むことが期待される。

なお、新役員は次のとおり

会長 高橋 一志(再)

副会長 北川 敬太(新)



総会で挨拶する高橋会長

圃場ぬかるみ対策に短時間で液体融雪剤散布

ドローンによる液体融雪剤散布実演会



液体融雪剤を散布するドローン

新篠津村ICT農業研究会と水稻直播研究会は3月5日、両研究会共催による「ドローンによる液体融雪剤散布実演会」を水稻直播研究会の婿山学氏圃場にて開催。村内の生産者ら21名が参加した。

この実演会は初めての試み。春作業の順調なスタートを切るために行う融雪作業をドローンによる液体融雪剤を散布することにより、その融雪効果やドローンタンクの汚れ具合等を確認した。今年には雪が少なく、圃場内にトラクタが入れない箇所も少なくない。そのような圃場に向いている融雪方法を粒剤ではなく液体剤で試した。ドローンのタンクに液体融雪剤18ℓを投入。散布倍率は1.2倍液を10a当たり1.6〜3.2ℓ。農業現場における高齢化や労働力不足問題を解消するための省力化対策として、選択肢が広がった。

新篠津村ICT農業研究会の高橋一志会長は「液体剤でのドローンによる融雪剤散布で、短時間で雪面が綺麗に黒く変わる。作業効率を考えると良い機会となった」と話した。

## 運動不足解消と部員相互の親睦深める

### JA青年部冬のスポーツ大会

JA青年部では3月4日、B&G新篠津村海洋センター体育館にて、夫婦同伴で冬のスポーツ大会を開催。春耕期の始まりを控えるなか、運動不足の解消と部員相互の親睦を深めようと88名が参加した。

有波俊明部長は開会にあたり「口頭、奥様達には青年部活動に對しご理解頂き大変ありがとうございます。農作業や家庭のサポートをしていただいている奥様方に感謝し、今年度の青年部活動がより良いものになるよう親睦を深めましょう。これから春作業があるので怪我の無いように楽しんで下さい」と挨拶。選手宣誓は、第1・2支部の宮田大輔氏が務めた。

競技はミニバレーボール、モルック、フリースローの3種目。各種目の合計得点で競い合った。ミニバレーボールは、4人制で交代自由。15分1セットを2試合で対決。フィンランド発祥のモルックは、12本あるピンの倒れ方で採点。50点に近い方が勝利し、こちら15分1セットを2試合。バスケットボールのフリースローは、参加者全員が1投ずつスローしての勝ち残り対決した。

体育館内は、終始笑い声が絶えない親睦ムード。そんな雰囲気の中でも、各種目で白熱したゲームを繰り広げ、参加者らは懸命なプレーに爽やかな汗を流していた。



白熱したモルックの様子

なお、結果は次のとおり  
優勝 第1・2支部Bチーム  
準優勝 第4支部Bチーム  
第3位 第5支部テキーラマンチーム

## 本年度も積極的な事業参加求める

### JA女性部つくし会第34回通常総会



通常総会で質疑を聞く鶴羽会長（左から2人目）

JA女性部つくし会では3月6日、JA2階大会議室で第34回の通常総会を開催。会員ら31名が出席した。

総会の開会にあたり鶴羽温子会長は「お忙しい中でお集まり頂きありがとうございます。皆様のご協力があり、何とかここまでやっております。皆様の出来ました。今後もつくし会事業を積極的に進めて行きましょう」と挨拶。来賓として出席したJA女性部の市川真紀部長は「今年も大勢のつくし会員の皆さまが女性部事業に参加して頂き誠にありがとうございますと挨拶しました。今後とも宜しくお願い致します」と挨拶した。

議題は、令和7年度事業報告並びに収支報告、令和8年度事業計画及び収支予算案、令和8年度役員についてのほか、全5議案を審議した。総会終了後には、ポッチャ体験会を実施し、会員達は楽しみながら親睦を深めていた。

なお、新役員は次のとおり  
会長 大塚 陽子(新)  
副会長 佐藤 美知代(新)

## 持続可能で魅力ある都市と農村の交流活動の充実に向け

### グリーンツーリズムしんしのつ第15回通常総会



開会挨拶する北野会長（右から2人目）

JA2階大会議室で第15回通常総会を開催。受入農家をはじめ村、JA、石狩農業改良普及センター、新篠津開発株式会社など関係者ら25名が参加した。

総会の開会にあたり北野亨会長は「昨今の物価高による影響で本州から北海道への修学旅行に伴う相対的な経費の割高が及ぼす旅行件数の減少傾向や各地のグリーンツーリズム受入農家数の減少など懸念材料はあるが、持続可能な交流活動を今後も発展させて行きたい」と挨拶した。

来賓には、新篠津村の石塚隆村長、当JAの長屋光一代表理事組合長、石狩農業改良普及センター北部支所支所の辻敏昭支所長、新篠津開発株式会社柴田陽子代表取締役社長が出席。

議事では、令和7年度事業報告及び決算報告、令和8年度事業計画及び収支予算案を含む全4議案を審議。事業計画では、道内外からの体験受入や各種研修会への参加、恒常的な会員募集活動に繋げるためのPR活動を掲げた。

また、総会前にはグリーンツーリズム女子研修会を開催。2月21日に実施された「第6回新篠津天灯祭り」の準備等を行い、村の冬の魅力を発信する事業にも協力している。

## 地域の豊かな食生活を応援生産者の誇り込めてお届け

### 令和7年度「もぎたて市」部会総会



総会で挨拶する志賀部会長

「もぎたて市」部会では3月13日、JA2階大会議室にて令和7年度の総会を開催。部会員ら約22名が参加した。

開会にあたり志賀陽子部会長は「今年度も皆様のご協力により計画した事業を進めることが出来ました。本日は、皆様からご意見を頂きたく思いますので宜しくお願いします」と挨拶。出席した当JA農産部の杉本淳次部長は「近年の高温基調による作物の品質に与える影響を懸念している。また、部員数が減少傾向となっているため、体調管理には気を付けて頂きたい」と話した。

議題は、令和7年度事業報告並びに収支決算報告、令和8年度事業計画並びに収支予算案、役員改選、令和7年度売上額についてなど全8議案を審議した。令和8年度事業計画では、視察研修旅行や収穫イベントの実施等を盛り込んでいる。

なお、新役員は次のとおり  
 部会長 佐藤 弘美  
 副部会長 新居 幸江

## 米の付加価値向上と環境負荷軽減を実現

### 水稻温湯種子消毒作業

JAでは今年度の稲作開始に向け、2月23日より水稻温湯種子消毒施設を稼働。種もみの消毒作業を開始した。

温湯消毒は、ばか苗病、いもち病、苗立枯細菌病に対して、農薬を使用した場合と同等以上の防除効果が期待でき、米の付加価値向上や減農薬による環境負荷軽減など様々なメリットを持っている。

作業手順は、品種毎に色分けされたネットに種籾を5<sup>kg</sup>ずつ詰め全自動種籾殺菌装置に投入。60度のお湯に10分間浸漬し、種籾に付着した雑菌を殺菌する。消毒処理された種籾は速やかに冷水で冷やされた後、脱水を行い専用の乾燥機で籾水分15.0%〜15.5%までに調整する。処理前と処理後の種籾から2回ずつサンプリングを行い、発芽率90%以上である事を確認したあと、組合員に配布する。

今年度は「ななつぼし」「きらら397」「ゆめぴりか」など9品種の消毒を行う。職員とパート10人体制で作業を進め、一日平均4.2t、3月下旬までに約106tを消毒処理する。

JAでは「徹底した管理体制のもと発芽率の良い種籾を安定的に供給していくことはもちろんのこと、組合員に高品質な種籾を供給していきたい。また、温湯消毒した種籾は水温により発芽に要する時間が大幅に変わるため浸漬する際はヒーターによる加温浸漬をして頂きたい」と話している。



全自動種籾温湯殺菌装置による消毒作業の様子

## 今シーズンの作付けイメージ湧かせ種子吟味

### 種子即売会



多種類の種子が並んだ即売会の様子

「もぎたて市」部会及びしんのつ産直市場出荷者は2月19日、JA2階大会議室にて各種の野菜や花卉等の種子即売会を今年も開催した。当日は、関係者ら約40名が訪れた。

この種子即売会は、令和8年度の農産物の作付けに向けての準備と、各作物別の特徴や栽培技術等の理解を深めることを目的に毎年行われている。

即売会場では、(有)江別ヤマト種苗による協力のもと、パプリカやトマト、白菜やナス、ブロッコリーにズッキーニなどの野菜の種子と、マリィゴールドやトルコギキョウ、かすみ草にルピナスといった花卉の種子、そのほかにも珍しい野菜や花卉の種子など約1,000種類が並べられた。

部会員や出荷者のほか一般の来場者らは、栽培上の注意点や作物の特徴などについて熱心に販売員と会話しながら確認していた。

今年度の作付けをそれぞれ思い浮かべながら、多くの小袋を手にしていった。

# 今月の技術情報

石狩農業改良普及センター石狩北部支所  
TEL.(0133)23-2146 FAX.23-2887

## 【水稲】

### 1 停滞水を除去し、初期生育を促進！

水田に融雪水が停滞することがないように排水溝等につながる溝切りを行い、停滞水を早急に除去しましょう。除去することで土壤乾燥や地温上昇が進み、「乾土効果」による初期生育の促進が期待できます。



写真 溝切り施工による排水の様子

### 2 種籾管理(消毒、浸種、催芽)はしっかりと！

- (1) 自家採種種子は原則使用せず、温湯消毒した種籾は清潔な場所で保管しましょう。
- (2) ばか苗病の病原菌は作業現場の様々な場所に存在しており、消毒済み種子が作業中に汚染され発病する場合があります。
- (3) 浸種は清潔な水を使用し、種籾に酸素を与えるために2日に1回は水を交換してください。水温11～12℃で浸種日数は5～6日としましょう。
- (3) 催芽における最適温度は30～32℃で、発芽までの時間は約20時間が目安です。15時間を過ぎてからは、こまめに発芽程度を確認してください。
- (4) 催芽後すぐに乾かすと芽が伸びてしまうため、水で冷やしてから乾かしましょう。

### 3 計画的な種作業と適正な育苗管理が重要！

- (1) 近年、5月中下旬が高温傾向のため、葉齢が進み老化苗で移植しているケースが多く見受けられます。以下の育苗基準を参考に綿密な育苗計画を立ててください。

表 育苗様式別の苗形質に関する目安

項目	単位	既存の育苗様式			高密度播種	
		稚苗 箱マット	中苗 箱マット	成苗 ポット	高密短 箱マット	密播中苗 箱マット
草丈	cm	8～12	10～12	10～13	10～12	10～12
葉数	葉	2.0～2.5	3.1以上	3.6以上	1.8以上	2.6以上
第1鞘高	cm	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下	2.5以下
乾物重	g	1.0以上	2.0以上	3.0以上	1.0以上	1.6以上
移植早限※1	℃	11.5	12	11.5	—※2	—※2
移植晩限		5月25日	5月31日	6月5日	中苗に準ずる	中苗に準ずる
m <sup>2</sup> 株数	株	25以上	25以上	22～25	25以上	25以上
一株苗数	本	4～5	3～5	2～4	3～5	3～5

※1 移植早限は移植後5日間の平均気温で示す

※2 設定がない

- (2) 出芽までは籾の位置の温度を必ず測定し、25～32℃になるようハウスのビニールや二重被覆フィルムを開閉し調節してください。絶対に焼かないようにしましょう。
- (3) 籾位置の温度が長時間35℃を超えると高温障害が発生しますので十分注意しましょう。
- (4) 白い芽が70%確認できたら、シルバーポリトウを遅れないように除去しましょう。

## 【秋まき小麦】

### 1 融雪水の除去

本年の積雪深度は10cmと平年の88cmに比べ融雪が大幅に早まっていますので、早めに融雪水の対策の準備をしましょう(3月15日現在)。

融雪水が地表面に停滞すると、湿害や雪腐病の被害を助長し、株の枯死・裸地の発生につながります。裸地が増えると雑草の増加につながり、収量の低下を招きます。溝切り等によって停滞水の除去を行い、被害軽減に努めましょう。

### 2 起生期追肥

秋まき小麦のは種が順調に進み、越冬前茎数が平年並みに確保されたほ場では起生期茎数が平年以上に確保されることが予想されます。多肥による過繁茂は倒伏や細麦、病害発生の要因となるため、茎数を測定し(表1)、起生期追肥量を決めましょう(表2)。

また、「きたほなみ」は、穂数型ではなく穂重型の品種です。適正な穂数(550~650本/m<sup>2</sup>程度)による受光態勢改善を行い、一穂粒数・千粒重を増加させることが安定生産につながります。

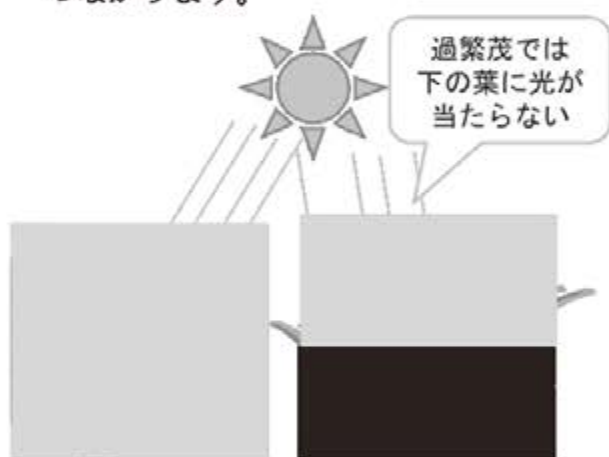


図1 穂数による受光態勢の違い

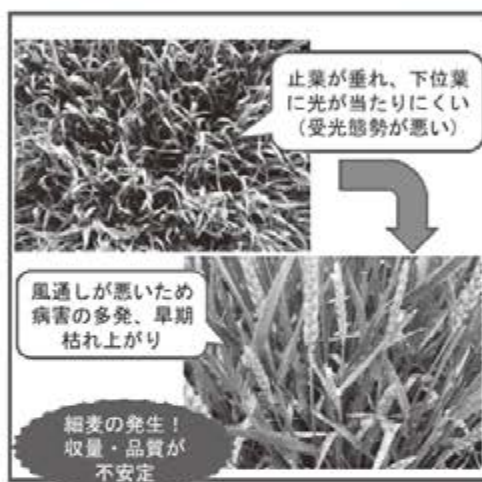


図2 過繁茂による収量品質低下

### ☆越冬茎数の調査方法

#### 茎数調査のしかた

- ・生育の中層な地点(2~3カ所)で、50cmの茎数を測定し平均する。
- ・m<sup>2</sup>当茎数の計算方法  
50cm当茎数(本)÷畦幅(m)÷0.5(m)

表1 畦幅別の茎数早見表(50cmの場合)

ドリル 畦幅	1条50cmあたりの茎数			
	400本/m <sup>2</sup>	800本/m <sup>2</sup>	1,000本/m <sup>2</sup>	1,300本/m <sup>2</sup>
12.5cm	25本	50本	63本	81本
18.0cm	36本	72本	90本	117本
25.0cm	50本	100本	125本	163本
30.0cm	60本	120本	150本	195本

茎数を数え、生育状況を確認した上で追肥時期や追肥量を決めることが大事!

表2 窒素施肥量例<品種:きたほなみ>

土壌	起生期茎数(m <sup>2</sup> )	起生期	幼形期	止葉期	開花期
低地土 泥炭土	少ない 800本未満	6	4	4	0
	標準 800~1,300本	3	4	4	0
	多い 1,300本以上	2	4	4	0

※出典: JA新しのつ令和6年米麦大豆栽培基準



**農作業事故に注意しましょう!**

## 令和7産の米・麦・大豆通信簿について

今年度も各種農産物の通信簿を作成しました。目的としては、それぞれ品目で栽培上の課題や村内の位置づけを確認して頂きたいと思い作成しています。

作成した対象は、JAに自主検査（品質データ）があることを前提とさせて頂きました。収量性は一番先に目のいくところですが、それ以外の製品率や品質等は反省材料、次年度の課題、注意すべき大切なポイントとなります。

令和8年産の作付に向けて参考にして頂ければ幸いです。（「散布図」のグラフは、是非、縦にしたり、横にしたりと縦横を変えてグラフを見て下さい。違う見え方もします。「あなた」の村内順位もわかるかも？）

### 1. 令和7年産農産物通信簿

- ①秋こむぎ通信簿 ～「きたほなみ」限定～ 令和7年12月配布
- ②水稻直播通信簿 ～ JAライスファクトリー「えみまる」限定～ 令和8年2月配布
- ③水稻「そらきらり」通信簿～JAライスファクトリー「そらきらり」限定～ 令和8年2月配布
- ④水稻「ななつぼし」通信簿～JAライスファクトリー「ななつぼし」限定～ 令和8年3月配布
- ⑤だいず通信簿 令和8年3月配布
  - ～JA自主検査データ(ユキホマレ・とよみずき・とよまどか)限定～
- ⑥麦類通信簿 ～秋・春小麦、全品種の過去3ケ年～ 令和8年3月配布

### 2. 麦類通信簿について

- 1) 対象者  
秋小麦・春小麦の全品種
- 2) 収量データ  
数量払いデータを使用
- 3) 対象年次  
令和5～6年の3ケ年

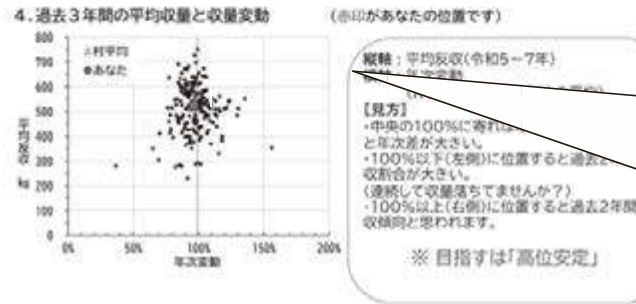
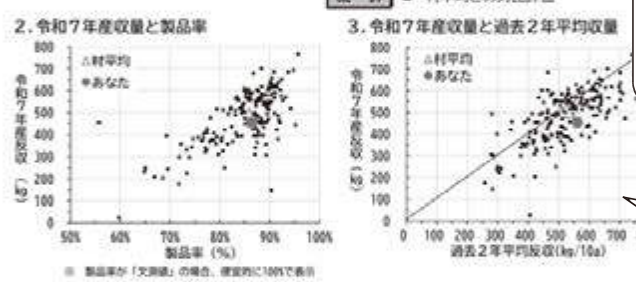
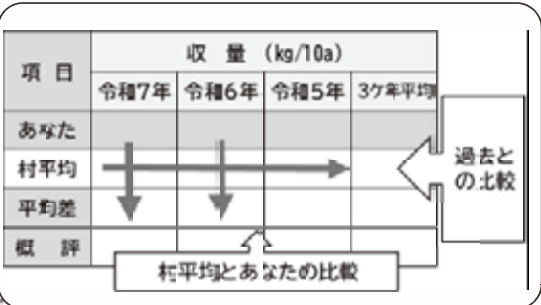
**麦類通信簿** 作成月日： 令和8年3月11日  
从新穂津・新穂津村生産振興会

～ 秋・春小麦、全品種の過去3ケ年 ～

ID  地区名  氏名

1. 生産出荷実績

項目	収量 (kg/10a)				収量の前年対増減比 (%)			製品率 (%)
	令和7年	令和6年	令和5年	3ケ年平均	令和7年	令和6年	平均	あなた
あなた	455	605	516	525	75%	117%	96%	86%
村平均	498	530	542	523	94%	98%	96%	87%
平均差	-44	-75	-25	2	-19%	19%	0%	2%
概評	低い傾向	高い傾向	低い傾向	高い傾向	低い傾向	高い傾向	高い傾向	高い傾向



※製品率はJA施設のみ表示

横軸 令和5・6年の平均収量  
縦軸 令和7年の収量

横軸 3年間の収量変動  
縦軸 3年間の平均収量  
収量変動は、上記表中の「収量の前年対増減比」の平均値で表記しています。100%軸に近い程、年次変動が少ないです。左側に位置している場合は連続で収量減少の傾向、右側に位置する場合は増収の傾向となります。

### 3. ななつぼし通信簿について ~JAライスファクトリー限定~

#### 1) 対象

JAファクトリー出荷の「ななつぼし」となります。

#### 2) 収量

フレコン・紙袋出荷は含んでいません。そのため、ファクトリー出荷量を出荷契約面積で割り返して反収としています。

項目	令和7年	令和6年	前年差
あなた	↑	↑	← 前年との差は？
村平均	↑	↑	← 村平均との差が広がった？縮んだ？
平均差	↓	↓	
概評	多い傾向	低い傾向	低下傾向

あなたと村平均の比較

※ 村平均収量はファクトリーだけの平均値であり、フレコン・紙袋を含めた反収と乖離しています。

裏面は反省ポイント

なぜ、製品率が下回ったのか？  
特に、前年より、村平均より落ちたのは何故か？

#### 水稲ななつぼし通信簿

作成月日： 令和8年3月13日  
JA新しのつ・新穂津村生産振興会

～ JAライスファクトリー「ななつぼし」限定 ～

ID: \_\_\_\_\_ 地区名: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

1. JAの呼び出しの製品(最終調整)データを作成しています。  
2. 品種は「ななつぼし」限定ですが、加工米・新穂高産米・雪川産米の区分はありません。  
3. タンパク・製品率の平均値は「数量の平均」で、品質判定機データは「出荷回数平均」で算出しています。

1. 令和7・6年産米の生産出荷実績

項目	製品収量 (俵/10a)			製品+中間米収量 (俵/10a)			タンパク		
	令和7年	令和6年	前年差	令和7年	令和6年	前年差	令和7年	令和6年	前年差
あなた	9.8	9.0	0.8	9.9	9.0	0.9	7.9	7.7	0.2
村平均	8.8	8.8	0.0	8.9	9.0	-0.0	8.4	8.1	0.2
平均差	1.0	0.2	0.8	1.0	0.1	0.9	-0.5	-0.5	0.0
概評	多い傾向	多い傾向	下差小	多い傾向	多い傾向	下差小	低い傾向	低い傾向	不変

※ 前年対比の評価に対して、村平均の落ち込みより「大きい」「小さい」？

【注意事項】  
・収量データは、ファクトリー(施設)利用データのみ算出しています。  
・フレコン、紙袋データは含んでおりません。  
・反収は、「ななつぼし」の出荷契約面積で割り返しています。  
・そのため、全量契約面積通りで、施設出荷であれば表記のデータ通りとなります。  
・また、村平均のデータは、「ファクトリー出荷内での平均」として参照下さい。

2. グラフで自己判定を！ (赤い印があなたの位置です)  
① 前年対比の製品収量(俵/10a) ② 前年対比のタンパク

縦軸 令和7年  
横軸 令和6年  
前年との比較で、中央ラインより左上側に位置すると前年を上回り、右下方向に位置すると前年より下回ります。反収は左上側、蛋白は右下側に位置することが望めます。ラインから離れる程、前年差が大きいです。

令和7年産は、色屑米割合が非常に多い年でした。  
比較的品質良好な「ななつぼし」でも村平均でも3%と前年の倍以上となっています。多い生産者だと1割近く落ち収量低下の大きな要因となっています。

品位割合は、ファクトリーの自主検データで前年9割のA品が2割近く落ちました。  
なぜ、落ちたのか？は、品質判定機による各被害粒の内訳を参照してください。  
施肥、防除、収穫時期の反省材料となります。  
なお、今年限りのデータと表記したのは、毎年自主検サンプルに印刷データのみ保管されています。  
今年は、品質が悪かったため、手作業でデータを集めています。

#### 3. 製品歩留まり

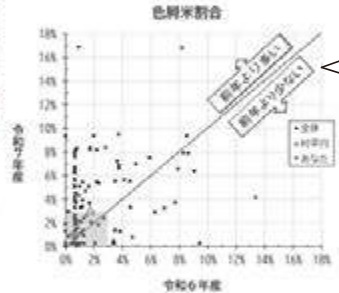
##### ① 調整前の製品率と調整後の製品率

項目	調整前製品率 (%)			製品率 (%)			製品+中間率 (%)		
	令和7年	令和6年	前年差	令和7年	令和6年	前年差	令和7年	令和6年	前年差
あなた	76.6	76.5	0.2	96%	97%	-1%	97%	97%	-1%
村平均	76.2	72.9	3.3	93%	96%	-3%	94%	96%	-2%
平均差	0.4	3.6	-3.1	3%	1%	2%	3%	2%	1%
概評	多い傾向	多い傾向	不変	多い傾向	多い傾向	不変	多い傾向	多い傾向	不変

※ 調整前の製品率は、調整前の玄米量÷乾燥玄米量  
※ 製品率は、中間米+色屑米+割米を除いたものを製品として算出している。  
※ 製品+中間率は、色屑米+割米を除いたものを算出している。

##### ② 色屑米

項目	色屑米割合 (%)		
	令和7年	令和6年	前年差
あなた	0.8%	0.7%	0.2%
村平均	3.0%	1.7%	1.3%
平均差	-2.2%	-1.1%	-1.2%
概評	少ない傾向	少ない傾向	不変



#### 4. 品質の状況

##### ① 品位割合(自主検データ)

品位	令和7年			令和6年		
	A品	D品	E品	A品	D品	E品
あなた	93%	7%	0%	100%	0%	0%
村平均	68%	30%	2%	88%	12%	0%

##### ② 品質判定機による結果(今年限りのデータとなります)

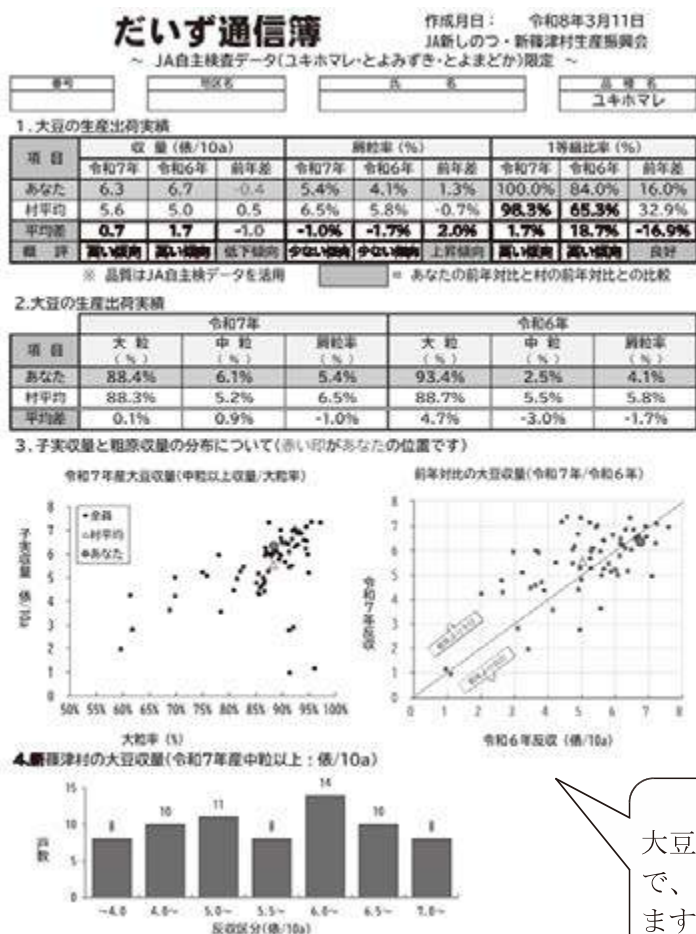
単位%	製粒歩合		未熟粒		破砕粒 (発芽粒) (割粒)	
	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
あなた	72.5%	25.3%	1.9%	0.1%	0.8%	
村平均	70.0%	26.7%	2.6%	0.1%	1.2%	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	

単位% (L:落粒) (R:米) 割合 (全量) (部分)

あなた	4.4%	0.7%	0.2%	0.0%	0.2%
村平均	4.8%	1.2%	0.5%	0.0%	0.5%
評価	◎	◎	◎	◎	◎

～ 品質データの見方 ～  
・各データは出荷回数での平均値となり、出荷量平均ではありません。  
・単位% (L:落粒) (R:米) 割合 (全量) (部分)  
・割り戻し: 割戻し、減量、減量が記載  
・カメシメ: 色屑米(注: 割戻し)

#### 4. だいた通信簿について ~ JA自主検査データ限定 ~



#### 1) 対象

「とよまさり系」の早生種主体にとりまとめています。

「ユキホマレ」「とよまどか」と複数品種作付されている方は平均で表記しています。

#### 2) 収量

自主検査データを使用しており、調整後の製品データではありません。

収量は、中粒以上として比較しています。

**収量は過去最高?!**

#### 3) 品質

令和7年は、ほぼ100%が1等級で極めて良質な作柄でした。

大豆の収量は極めて高く、令和6年も豊作で、さらに前年を上回る生産者が多数おります。

特に、増収者・多収者の栽培履歴を見ると炭カル量が激増傾向でした。

#### 秋小麦・大豆多収事例より

##### [秋小麦]

- ①融雪材は「防散融雪炭カル」使用者で多収事例多い。
- ②徹底した赤さび病防除の体系で実施されています。  
ミリオネア←→アミスター→プロライン→ミラビスの基本パターン
- ③尿素等の葉面散布は、適期を逃さず実施されている事例多いです。

##### [大豆]

- ①全体的に多収順位が大幅に入れ替わっています。
- ②特に、炭カルの使用量が激増150~200kg以上施用した生産者で大幅増でした。
- ③また、7割の生産者でリン酸資材の追加施用が行われています。
- ④播種時期は、5月下旬が多く多収事例も同様でした。
- ④適正なマメシンクイガ・カメムシ防除がしっかり行われています。
- ⑤優良事例としてはカルチ回数が多し生産者でした。(カルチ4回)

※ 適期を逃さず各種作業が実施されています。加えて栽培履歴からは見とれませんが、圃場の地力や透排水性の維持が大切と思われます。

# 「もぎたて市」部会 体験会員募集

村で野菜・花卉を作っている方  
新規で売り先を探してる方  
出荷してみませんか？



ブロッコリーや  
軟白長ねぎが不足してます♪

初年度は年会費無料・当番もありません。  
男性也大歓迎です！



積み込みは皆で協力しあいます



選果場前から朝8時30分に  
トラック出発「行ってらっしゃーい」



6月から10月は毎日出荷できます

【出荷先】

ホクレンショップ新しのつ店・屯田8条店  
アークス東苗穂店・くるるの杜  
ホクレンショップ前田店（花卉のみ）

お問い合わせ 新篠津村農業協同組合

JA新しの

TEL 0126-35-7108（直販課） 担当：中木

# お申込み550契約突破!

大好評!

絶賛申込  
受付中!

キャンペーン期間  
令和9年3月末まで

JA新しのつ 始まっています みんながトクする

## JAでんき

今なら  
ご契約  
1契約につき  
JCB商品券  
8,000円分  
プレゼント!



### JAでんきは「安心」・「おトク」なサービス!

#### 家庭用電力がおトク

	2人家族	4人家族	6人家族
契約アンペア	30A	40A	60A
月間使用量	220kWh	300kWh	500kWh
月額電気料金	9,700円	13,600円	23,600円

JAでんき	月額電気料金	9,500円	13,200円	22,500円
	年間お得額	年間2,400円お得!	年間4,800円お得!	年間13,200円お得!

※実際の切り替えによるおトク額は電気のご使用量等によって変動します。単価・電気料金については10%消費税込価格とさせていただきます。

家庭用のみならず営農用200Vもおトクに供給します。

#### 低圧電力(三相200V)がおトク

北海道電力(e1)様	JAでんき	契約容量8kWで
従量料金 28.95円/kWh	28.95円/kWh	年間35,000円お得!
基本料金 1,413.06円/kW	1,048.19円/kW	

※燃料調整額、再生可能エネルギー発電促進賦課金は北海道電力(e1) 低圧電力と別し単価です。※料金単価は、北海道電力は2025年10月時点、JAでんきは2025年12月時点の単価を適用しています。

お問い合わせは JA新しのつ ホクレン新篠津給油所 石狩郡新篠津村第47線北12番地 ☎0126-57-2810

# 求

ホクレンショップ  
新しのつ店

休日・出勤時間等

要相談

- ・時給1075円～
- ・3時間勤務～
- ・年齢・経験不問
- ・商品づくり、品出し、レジ打ち、店内業務etc.

～詳しくは、電話連絡の上、委細面談。～

ホクレンショップ新しのつ店で  
一緒に働いてみませんか？

お問い合わせはこちら

☎0126-39-3131 担当：(鷺田)

## 新採用職員

組合員の皆様よろしく  
お願い致します。

氏名

- ① 出身地
- ② 出身校
- ③ 趣味・特技
- ④ 好きな言葉
- ⑤ JA職員としての抱負



宮崎 唯一

- ① 北海道倶知安町
- ② 酪農学園大学
- ③ 映画鑑賞
- ④ 感謝
- ⑤ 私の抱負は、組合員の皆様にとつて「一番心の距離が近い職員」になることです。難しい理屈よりも、まずは、皆様の気持ちに寄り添いながら、温かい関係を築いていきたいです。



安楽 楓加

- ① 小樽市
- ② 札幌学院大学
- ③ 旅行
- ④ 継続は力なり
- ⑤ JA職員としての自覚をもち、1日でも早く仕事を覚え、組合員の皆様に信頼していただけるよう精一杯努めてまいります。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

## 本採用職員

組合員の皆様よろしく  
お願い致します。

氏名

- ① 出身地
- ② 出身校
- ③ 趣味・特技
- ④ 好きな言葉
- ⑤ JA職員としての抱負



黒田 智史

- ① 札幌市
- ② 専門学校北日本自動車
- ③ 大学院
- ④ テニス
- ⑤ 失敗は成功のもと  
整備士として皆さんのお車を全力でサポートしていきたいと思えます。



野口 祥平

- ① 東京都
- ② 成蹊大学
- ③ ファイターズ・スノーボード
- ④ 雲外蒼天
- ⑤ 東京都出身ではありませんが、北海道に貢献したいという思いでJA新しいのつに入職しました。農業に関してはまだ知識不足ではありますが、一つ一つ勉強していきたい皆様のお力添えができるよう精進していきます。

## 人事異動の発令について

このことにつきまして左記のとおり人事異動を発令しますのでお知らせ致します。

令和8年4月1日付

### 記

#### ◎正職員

・金融共済部 共済課長

小松田 康史  
(農産部 生産資材課長)

・営農部 営農企画課長

木野田 崇  
(金融共済部 共済課長)

・農産部 生産資材課長

小野 紘志  
(営農部 営農企画課 経営相談係長)

・金融共済部 共済課 共済係 主任

田中 鈴音  
(金融共済部 金融課 貯金係 主任)

・機械センター 給油所係 主任

岩崎 武義  
(機械センター 給油所係)

・ 営農部 営農企画課 経営相談係長

向 逸 孝

(営農部 営農企画課 経営相談係)

・ 農産部 生産資材課 生産資材係

石 橋 滯

(農産部 農産園芸課 蔬菜係)

・ 農産部 農産園芸課 蔬菜係

柴 田 航 輝

(農産部 生産資材課 生産資材係)

・ 金融共済部 金融課 貯金係

佐 藤 玲 奈

(金融共済部 金融課 融資係)

◎新卒採用正職員

・ 営農部 営農企画課 農業振興係

宮 崎 唯 一

(酪農学園大学 卒業)

・ 金融共済部 金融課 融資係

安 樂 楓 加

(札幌学院大学 卒業)

◎本採用正職員

・ 営農部 営農企画課 農業振興係  
(兼) 管理部 管理経理課 融資審査係

岩 井 正 修

(営農部 営農企画課 農業振興係)

・ 農産部 農産園芸課 蔬菜係

盛 田 佳 世 子

(農産部 農産園芸課 蔬菜係)

・ 機械センター 整備係

黒 田 智 史

・ 農産部 生産資材課 生産資材係

野 口 祥 平

定年再雇用職員

◎定年再雇用職員

・ 農産部 農産園芸課 米麦係

橘 井 信 彦

(農産部 農産園芸課 米麦係)



このたび、3月31日付をもちまして、定年退職となりました。

入組以来、組合員の皆様方には公私にわたりご指導・ご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

引き続き、常備職員として勤務することになりましたので、これまで同様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

◎退職者(令和8年3月31日付)

・ 営農部 営農企画課 農業振興係  
(兼) 管理部 管理経理課 融資審査係

近 藤 貴 弘

◎農業後継者研修雇用制度実習生退職者

(令和8年3月31日付)

・ 農産部 生産資材課 生産資材係

佐 藤 一 郎

職員永年勤続表彰

永年勤続表彰該当者(令和8年4月1日)

勤続年数	永年勤続表彰者名		
35年(1名)	杉 本 淳 次		
30年(3名)	吉 田 直 生	小松田 康 史	伊 達 和 哉
25年(2名)	水 島 孝	土 居 孝 行	

## 令和8年度 第2回 理事会 令和8年3月17日(火)

### 報告事項

- ① 繁忙期の休日対応について
- ② 組合員の脱退について
- ③ JA経営定期点検の実施結果について
- ④ 内部監査室監査の実施結果について
- ⑤ 令和8年度中途採用職員について
- ⑥ 職員の採用並びに人事異動について
- ⑦ 5,000万円超の信用の供与等に係る貸付実行について
- ⑧ 大口信用供与先の経営状況について
- ⑨ 保管業務状況について
- ⑩ 令和8年度野菜・花卉の出荷状況について
- ⑪ 新篠津村農業青年「宮田賞」褒賞者について
- ⑫ 各部専門委員会の開催結果について
- ⑬ 常勤役員の動静について

### 付議事項

- ① 令和7年度決算自治監査の実施結果について
- ② 会計監査人選任の議案の決定について

- ③ 信用供与等の限度額並びに貸付金利率の最高限度の決定について
- ④ 令和8年度貸付金利率の決定について
- ⑤ 令和8年度購買未収金利率の決定について
- ⑥ 令和8年度受託整備料金の決定について
- ⑦ 令和8年度販売手数料の決定について
- ⑧ 令和8年度予冷料及び花卉集出荷施設利用料の決定について
- ⑨ 令和8年度大豆乾燥調製施設利用料・穀類調製貯蔵施設利用料・米乾燥調製施設利用料の決定について
- ⑩ 令和8年度水稲湯湯消毒施設利用料の決定について
- ⑪ 令和8年度経営定期点検実施計画の策定について
- ⑫ 目的積立金の取り崩しについて
- ⑬ リース取引による固定資産の貸借について
- ⑭ 固定資産の取得について
- ⑮ 固定資産取得に係る工事指名業者の選定について
- ⑯ 農協中期経営計画(令和3年度～7年度)の総括並びに農協中期経営計画(令和8年度～13年度)の設定について
- ⑰ 第11次農業振興計画(令和8年度～13年度)の策定について

### その他

※上記の事項について報告、承認されました。

## 令和8年度 臨時理事会 令和8年3月6日(金)

### 報告事項

- ① 組合員の脱退について
- ② 人事異動について
- ③ 農業後継者研修費用制度研修期間満了に伴う慰労金の支給について

### 付議事項

- ① 令和8年度理事・監事の報酬の答申について
- ② 第78回通常総会の招集及び議案並びに総会参考書類について
- ③ 貸借対照表、損益計算書、余剰金処分案、事業報告、附属明細書及び注記表の承認について

- ④ 出資配当金及び事業分量配当の基準の決定について
- ⑤ 部門別損益計算書の承認について
- ⑥ 令和8年度事業計画の設定について
- ⑦ 「第11次農業振興計画及び農協中期経営計画の取り組みについて(要約版)」の設定について
- ⑧ 議決権行使書面の取扱いについて
- ⑨ 農事組合懇談会の開催について
- ⑩ 新篠津村農業委員会委員候補者の推薦について
- ⑪ 組合員の出資持ち分譲渡について
- ⑫ 固定資産の取得について
- ⑬ 規程の改正について

### その他

※上記の事項について報告、承認されました。

### 繁忙期の休日対応について

部門	期間	営業時間
生産資材課	4月29日、5月2・4・5・6日	土・日・祝日 8:30～17:15
機械センター	5月6、9、10、16、17日	土・日・祝日 8:30～17:15
給油所(JAOC配送)	通常営業	土・祝日 7:00～19:00

※繁忙期の状況により、期間等を変更する場合があります。 ※給油所電話番号 TEL(直通):57-2810、FAX:57-2818 ※毎週日曜日と4月22日(水)のJAOC配送は休日となります。

### ホクレンショップ 新しいつ店からのお知らせ

【4月の休業日のお知らせ】  
5日、12日、19日、26日の各週日曜日  
.....  
【4月1日～8月31日まで夏季営業時間】  
開店9時30分 閉店18時30分

## 家の光図書 ～2026年4月の新刊～

※貸し出しを行っていますので、詳しくは、  
営農企画課までご連絡下さい。



実践事例に学ぶ  
これからのJAファンづくり

日本協同組合連携機構 著 A5判・256頁  
本体:1500円(+税)

組合員数や職員数の減少がすすむ中、重要性が増すJAの教育文化活動。職員教育や次世代対策、女性組織活動など、組織基盤強化につながる先進事例を具体的に解説します。実践的な参考書として活用できる一冊。



ぜ～んぶひとりできちゃっ!  
小学生のお料理ブック 世界のごはん

青木ゆり子 著 B5変判・96頁  
本体:1500円(+税)

今回は世界の料理をテーマに、その国の人ならみんなが知っている郷土料理を紹介。日本でもおなじみのメニューから見たことも聞いたこともない不思議な料理も。料理を作りながら世界についても楽しく学べる。



菜膳おみそ汁  
身近な材料で気軽に続けられる

植木もも子 著 A5判・112頁  
本体:1500円(+税)

いつものみそ汁を菜膳に!毎日飲むものだからこそ、食材のもつ効能を理解すればぐっと体をいたわる一杯に。特別な材料を使わずに、季節や体調に合わせていつもの具材から選ぶだけで簡単に菜膳みそ汁が作れる。



PEテープで編む 軽くてかわいい  
大人のかごバッグ

阪本あやこ 著 B5変判・80頁  
本体:1600円(+税)

身近なPEテープを使って、かぎ針編みのカラフルな可愛いバッグが作れる!軽くて丈夫なうえに、低コストで作れるのも魅力的です。編み目が大きく見やすいから、初心者でも失敗しづらく、短時間で完成します。



萌出

中井杏美

父：達哉 母：千里  
趣味：絵を描くこと

わが家のヒーローはお母さんです。  
理由は、お母さんは仕事で忙しいのに家事をしてくれるからです。  
また、わたしがインフルBでぐったりしているときに一番世話をしてくれたからです。  
だからわが家のヒーローはお母さんです。

な、かまど文芸

メダル下げロビーに凱旋春一番

幾度も目覚める雪のしずりかな

庭イチイ余生嗜み草の芽の

感涙や昭和を偲ぶ春の宴

枯渇した川底のひび路の臺

春星の如く輝けそらみちやん

春の駅言葉つまりて目で語る

風吹きて片寄りしだる柳かな

冴返る犬の温みとすれ違う

空き部屋や娘の机あり春愁

波多野 和歌

長谷川 美智子

永森 勇

小原 博

田中 美智子

佐藤 千佳

浅田 緑

石若 ひとみ

水島 キミ

吉田 修二

俳句・川柳サロン

踏まれてもついていきます下駄の雪

春風に裾捲られて頬染めし

惜春の友と寄り添うカフェテラス

つないだ手鼓動重なり二重奏

カレンダー春の予定埋まりおり

このカメラ夫の青春鳥雲に

騙されてされど幸せ四月馬鹿

よしまろ

いさむ

ちか

みどり

きみ

わか

ひろし

春の訪れ感じる美術作品北新農事組合の  
久米川京子さんが長屋代表理事組合長に油絵寄贈



3月6日、北新農事組合の久米川京子さんが作成した油絵が長屋代表理事組合長へ寄贈された。作品名は「雪解けの石狩川」。完成までにかかった制作日数はおよそ30日という大作。キャンバスサイズはF30号(910×727mm)。筆で丁寧且つ繊細なタッチで描かれている。村の大地に恵みをもたらす石狩川の風景は、春の訪れを感じさせる。

ご寄贈頂き誠に有難うございました。

# みんなの伝言板

三浦裕翔 (苫小牧市/10歳)



「みんなの伝言板」のイラストを見るのが楽しみです。  
鬼滅の刃のいくろを書きました。

小林



禅 (かつら/7歳)

カンタンです。

小柳明子 (ふらわ/50歳)



ちいかわとハチワレとつさぎをかきました。

羽田空良 (新渡/13歳)



## 編集後記

気付けばあっという間に4月。月日の過行く速さをまた実感している。広報業務は常に翌月発行分掲載の記事を作成しているが、校正終了日に近い取材対象などは決裁や校正作業の都合上、翌々月分掲載へとまわすため、今日が何月なのかと混乱することも珍しくない。今月は、多くの人にとって新しいスタートを切る大事な月。3月中旬から4月上旬にかけて転入・転出の届出が一年で一番多い月であり人が大勢動く。また新しい出会いに期待出来る。人と巡り合えるという喜びは、自分のその先をまだまだ広げて行けるという可能性を感じさせる。卯月の【卯】は「植・初・産」に繋がる音。自信を持って勇敢に最初の一步を踏み込んで欲しい。

## お便りイラストを募集しています

食や農業、地域の話など、日ごろ感じていることを折り返しはがきでお便りください。採用された方には謝礼をお送りします。また、カラーイラストや写真もお待ちしております。

あて先とお問い合わせ先

〒068-1193  
石狩郡新篠津村第47線北13番地 JA新しのつ営農部営農企画課  
E-mail: iwaimasami@shinshinotsu.ja-hokkaido.gr.jp

TEL:0126-57-2311

※JA金融店舗ATMとホクレンショップに応募箱があります。

発行/新篠津村農業協同組合 編集/営農部営農企画課  
住所/〒068-1193 石狩郡新篠津村第47線北13番地  
電話/0126(57)2311(代表)  
ホームページ/http://www.ja-shinshinotsu.or.jp/  
印刷/弘文社印刷(株) 岩見沢市5条東11丁目  
この『あぜみち』は環境にやさしい道産間伐材配合紙を使用しています。